

～勝つためにはどうしたらよいか、考えよう！～

今年はコロナウイルスの流行のため、例年とは違い、保護者の方には運動遊びを楽しんでいる子どもたちの姿を、web上で見ていただこうと思います。これまでの運動会での年長児の姿を見て、「やってみたい」「今年は僕たちの番だ」という憧れの気持ちがあるようです。そのため、今年もリレーとよさこいをすることに決めました。

早速リレーの練習を始めました。何度も練習していくうちに、「俺の方が足が速いから、1番に走りたい。」「2回走る子は足早い子がいいんじゃない？」など、少しずつ子どもたちなりの考えが出てきたので、子どもたちと一緒に走る順番を考えることにしました。

<順番決め1回目>



やっぱり、一走目とアンカーは人気だな。みんなしたいよね～

俺がアンカー走りたい。

一番目に走りたいな。

いやいや、僕のほうが足が速いよ。

保育教諭→誰が何番目に走ろうか？

じゃあ2回走るのは私ね。

順番を決めたのが初めてだったので、「〇〇番走りたい！」という自分の思いを通したい子がほとんどでした。保育者同士では、「子どもたちに順番の決め方をゆだねよう」という思いがあったのですが、子どもたちから「じゃんけんで決めよう。」という言葉が出てきたので、今回はジャンケンで決めることになりました。

子どもたちが決めた順番で実際に走ってみると、今まで勝っていたチームが負けてしまい、子どもたちはすぐに友だちと、「やっぱり〇〇が1番目に走った方がいいんじゃないかな？」などと話し始め、もう一度順番を決め直すことになりました。

<順番決め2回目>



速い子、遅い子の順番で走ったら？

俺あんまり足速くないし、早い子が一番に走ったらいいかも。

僕足速いよ。

相手チームのR君、足が速いからいつも抜かされてしまう…。

そしたら、遅い子の時に抜かされてしまうよ。

保育教諭→今回の順番はどうする？
どうやったら他のチームより早くゴールできるかな？

やっぱり私がアンカーがいいな～。

女の子が先に走って、最後に男が走るのはどう？

やだ、俺がアンカー走りたい。

いい案がたくさん出てくるな。いい感じ、いい感じ！

何度も実際に走っていく中で、子どもたちなりに「たくさん練習したら勝てるんだよ」「たくさん腕振ると速く走れるんだって」など考えを伝え合う姿が見られました。保育者も「バトンをうまく渡すのも早くゴールできる秘訣だよ」など助言をしながら子どもたちと一緒に順番を考えています。

今回はジャンケンではなく、子どもたちの意見を尊重しながら話し合いで順番を決めることができました。



リレーの順番を決める中で、自分の走りたかった順番になれなかった子、納得のいく順番に決まらなかったこともありましたが、しかし、少しずつですが、以前より一人ひとりが話し合いに積極的に参加して、どういう順番がチームにとって一番良いかについて考えられる子が増えてきました。

子どもたちにとってリレーを行うことは、ただ走って勝敗を決めるだけの競技だけではありません。話し合う→その上で実際に走ってみる→走ってみてどうだったかまた話し合う、を繰り返しながら、「考える力」や「友だちと協力する力」そしてもちろんリレーに必要な「体力」など様々な能力が育っています。そのため、今後も本番まで何度も話し合いを重ね、順番を変えたり、バトンの繋げ方や走り方を考えたりして、リレーの活動を深めていきたいと思えます。今はまだ自分の思いが通らず、折り合いがつけられない子もいますが、こうした経験を通して、少しずつ育ってほしいと願っています。ご家庭の方でも、子どもたちへ励ましの言葉をかけてあげてくださいね。